

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-06 □支援部門 生活環境					し尿収集事業			ザイムスコード及び個別事業名		
	資源循環課 関連課 深沢クリーンセンター								1174 し尿収集事業		
主管課											
分野名	生活環境										
目標 (目標値)	減少していくし尿収集の効率化										
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考							
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)							
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯								
運営資源 状況	決算値	24,413千円	27,959千円	し尿の汲取りトイレには、①一般世帯、②事業所等の実量・コップ式、③建設現場等の仮設トイレがあります。		指標と評価					
	(国・県)					指標			処理手数料の口座振替世帯割合		
	(負担金等)	11,452千円	10,573千円			評価			○		
	(一般財源)	12,961千円	17,386千円			◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退					
	人員配置数	1.2人	1.0人			目標値			実績値		
	人件費	10,768千円	9,387千円								
	協働の パートナー										
事務事業 運営経費	総事業費	35,181千円	37,346千円	し尿の汲取り対象者のうち、一般世帯にかかる平成21年度事務事業運営経費の対象者(817人)1人当りの経費は、24,085円です。		20年度	21%	18%			
	市民1人当りの経費	199円	212円			21年度	22%	20%			
	対象者1人当りの経費					22年度	22%				
ベンチマーク (平成20年度近隣自治体との比較値)	団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	逗子市	横浜市	23年度	23%			
	直営作業員	0人	0人	0人	3人	72人	最終年度 (25年度)	25%			
	直営収集量	0kl	0kl	0kl	434kl	9,732kl					
	委託収集量	1,658kl	3,882kl	2,701kl	0kl	0kl					
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・集金による処理手数料納付世帯が前年に比べ減少したが、さらに集金から口座振替への移行を進める。									
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・し尿処理手数料の徴収のため集金世帯を訪問した際、納付方法を口座振替への変更を勧めたところ、口座振替世帯の割合が18%から20%に増加した。									
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・対象世帯の減少により集金によるし尿処理手数料の納付世帯は減少しているが、口座振替による納付世帯の増加に努める必要がある。									
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・し尿処理手数料の納付方法について、今後とも、市民に集金から口座振替への移行を働きかけていく。									
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)						
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了											
評価結果	改善の必要性	対象世帯が減少する中、民間委託により行っている処理手数料徴収事務について、効率的な集金体制の確保を図る。				評価結果	改善の必要性	公共下水道の普及により、一般家庭の対象世帯が減少する中、対象世帯の減少に応じた効率的な収集体制の整備を図る。			
B	無					B	無				
課長名		古屋 善啓				部名・部長名		環境部 相澤 千香子			